

「老中八策」 尊厳ある「高齢期人生」を送るための指針はこれ！

丈風の会 2015・01・01+

- ① 65歳から90歳にむかって「高齢期人生」を模索しつつ体現中
- ② 「引退余生」の他力依存ではなく「現役長生」の自立意識を確立中
- ③ 培ってきた能力を活かして高齢期を豊かにする「モノ・サービス」を制作中
- ④ 健康(>病気)・知識(>認知症)・行動(>介護)のバランスで包括ケアを実現中
- ⑤ 3世代(青少年~30歳 + 中年~60歳 + 高年~90歳+) 多重型社会を創出中
- ⑥ 日また一日欠かさずに「地域生活圏」(共生と共助の文化圏)の形成に参加中
- ⑦ 高齢者の「居場所」でそれぞれの自己目標の実現をみんなで談論・協議中
- ⑧ 水玉模様のような小さな会(丈風の会も)に加わって各地各界の同志と連携中

<注>

21世紀の国際的な潮流は「高齢化」であり、「自立・参加・ケア・自己実現・尊厳」(高齢者五原則)は国連が提唱する国際的な指針。

★一人ひとりが長寿を喜べる「日本長寿社会」(青少年=成長期 中年=成長+成熟期 高年=成熟+円熟期 長年=円熟+達成期)とアジアに住むだれもが等しく豊かさを享受できる「アジアの共生」は、ふたつながら平和の証であり、高齢者の課題であり、本会の目標です。

